

事業所名

児童発達支援事業所 なないろ

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

1日

法人（事業所）理念		障害児が適切な支援と配慮を受け、健常児と共に学び、生活し成長することの助力となる。						
支援方針		聞こえに障害がある子どもさんの豊かな言葉やコミュニケーション力を育てます。家庭や地域や医療機関との連携を図りながらお子さまの成長、特性、能力に応じた支援を行います。						
営業時間		月～金	8時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	健康状態の把握・増進。生活リズムや生活習慣の形成。基本的な生活スキルの獲得。						
	運動・感覚	運動・動作の基本的技能の向上。姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用。身体の移動能力の向上。保有する感覚の活用。感覚の補助及び代行手段の活用。						
	認知・行動	感覚や認知の活用。知覚から行動への認知過程の発達。認知や行動の手掛かりとなる概念の形成。空間・時間・数・大小・色などの習得。対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の周到・活用。						
	言語 コミュニケーション	自発的な発声を促し、発語へと繋げる。滑らかな舌作りから、滑らかな発語発音へと繋げる。音声、手話など様々なコミュニケーションモードを活用し、意思の伝達をスムーズに行う。コミュニケーション能力の向上を目指し、読み書き能力・学習力向上に繋げる。						
	人間関係 社会性	アタッチメント（愛着行動）の形成。模倣行動の支援。感覚運動遊びから象徴遊びへ、一人遊びから協同遊びへの支援。自己の理解とコントロールのための支援。ルールを理解し、スムーズな集団生活への参加を促す。						
家族支援		家族（兄弟姉妹も含む）参加型の行事、催事を多種開催する。支援ごとに懇談の時間を設け、不安や悩みに早期に対応し、解消する。ピュア（当事者同士）の集まり、交流を数多く計画する。			移行支援		必要に応じ、移行先への情報提供と、アドバイスを適切におこなう。移行に向けて、移行先で必要なスキルが身につくように支援する。移行後も訪問や支援継続などを通してバックアップを続ける。	
地域支援・地域連携		対象児や支援の特殊性から地域活動に参加したり、交流することはない。関係ある医療機関と年2回のカンファレンスを開催する。利用児が通園する幼保と定期的に交流し情報の共有をはかる。			職員の質の向上		園外での研修・講演に参加する。園内で相互の研究支援を実施し、必要となる個人のスキルを全職員で共有する。	
主な行事等		遠足、ママ交流会、幼稚園・保育園交流会、卒園生の講演会、卒園生保護者のお話会、なないろ夕涼みの会、クリスマス会、なないろ初詣、補聴器勉強会、人工内耳勉強会、就学説明会（4,5歳児保護者）、卒園遠足、水遊び、ハロウィンパーティー、節分豆まき など						